

申込書

# 米国・カナダにおける バイオ製剤に関する特許訴訟の比較検討

開催日:平成27年11月11日(水)14:30~16:45pm

## 講師のご紹介

## ◆John Norman

カナダ弁護士、パートナー (Gowlings)  
・カナダ、日本および多国籍企業にお  
ける、特許および知財のポートフォリ  
オの管理、訴訟対策に携わる。主に、  
大手製薬会社、バイオテクノロジーお  
よびテクノロジー企業を担当し、カナ  
ダ連邦裁判所、控訴裁判所、および  
最高裁判所にて数々の訴訟案件をて  
がける。BIOTECANADAのボードメン  
バーおよびバイオシミラー委員会に所  
属。アメリカ法曹協会(ABA)にて、バ  
イオテクノロジー、化学、医学、医学、  
薬理学関連委員会に所属。

## ◆森 すみ子 カナダ、米国弁理士

・1998年に日本弁理士試験合格。  
深見特許事務所(大阪)にて電気・電  
子・ソフトウェア分野の出願および審  
査応答にたずさわる。その後、カナダ  
に渡り、カナダ弁理士資格および米  
国弁理士資格を取得。現在Gowling  
Lafleur Henderson LLPのオタワ支部  
にて、知的財産部門に所属。

## ◆有原 幸一 日本弁理士

(コーディネーター)  
・久遠特許事務所副所長  
千葉大学理学部化学科卒、昭和63  
年弁理士登録、国際知的財産保護協  
(AIPPI)会員、日本弁理士会元常議員、  
日本弁理士会研修所副所長

## A Comparison of Biologic Drug Patent Litigation in the United States and Canada

本講座は、近年注目をあびている後続バイオ製剤(バイオシミラー)について、  
米国・カナダにおける特許要件及びその特許訴訟の動向を考察いたします。

<11月11日(水)14:30~16:45pm(途中休憩有)>講師ご紹介

・イントロダクション:後続バイオ製剤(バイオシミラー)(有原)

### 1. Introduction - What are Follow-on Biologics (FOBs)? (以下John & 森)

•Differences from small molecules •Sequences •Expressed  
compounds

### 2. What aspects of Biologics are patentable subject matter?

•Methods •Composition of matter, structure •Functionality  
•Methods of medical treatment  
•The impact of *Association for Molecular Pathology v Myriad Genetics*  
•Differences in Canada - *Harvard College v Canada (Commissioner of Patents)*

### 3. How can a patentee establish infringement?

•Is it possible to be "identical", and chemical equivalents  
•Possible workarounds for a FOB  
•Changes to sequence? •Changes to cultures?  
•Formulation/packaging changes? •Others?

### 4. Validity

•Patentable subject matter  
•Anticipation  
•Obviousness  
•Sufficiency  
•Utility •Demonstrated •Sound prediction

<質問の時間>16:15~16:45pm (予)

詳しくは URL参照 <http://www.zoomin.co.jp/patbank/school/biologic-patent-litigation-in-us&can.html>

■取得単位:2単位(予定)/ 当社は日本弁理士会の外部研修機関としての認定を受けています。この研修は、日本弁理士会の継続研修の認定を申請中  
です。この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として2単位が認められる予定です。【注意事項】15分以上の遅刻をした場合には、受講  
したものと認められません。公共交通機関等の遅延、自己の行為に起因しない理由であっても、受講したものと認められませんので、時間に余裕をもって  
会場にお越しください。また、中座、早退の場合については、時間にかかわらず、受講したものと認められません。

◆受講対象者◆ 特許の実務に携わる方、企業・特許事務所職員、特許翻訳者など

◆開催日時◆ 平成27年、11月11日(水)14:30~16:45pm、計2時間15分

◆会場◆ 全日通労働組合(8F 会議室)千代田区霞が関3丁目3番地3号 全日通霞が関ビル

◆定員◆ 受講 60人(先着順) 開催条件10人以上

◆受講料◆ 3,000円(消費税別、資料代含む) 修了生割引 2,000円(同)

◆申込期限◆ 11月4日(水)、メールまたはFAXで受付後、お支払いのご案内を発送をいたします。

申込書

## 米国・カナダにおける バイオ製剤に関する特許訴訟の比較検討

お申込は FAX 03-3292-2701 又は、Emailで下記項目をお送りください。staff@zoomin.co.jp

標記コースの受講を申し込みます。

実施日、会場

氏名 印 (弁理士会会員登録番号: ) 東京:11月11日(水)  
於:弁理士会館(予)

資料等  
送付先 会社・事務所名:  
住所(〒 - )

TEL FAX (必須)  
E-mail

お問合せ (株)エイバックズーム 〒101-0052東京都千代田区神田小川町3-2サニービル4F

TEL 03-3292-2700 FAX 03-3292-2701

<http://www.zoomin.co.jp/>

E-mail [staff@zoomin.co.jp](mailto:staff@zoomin.co.jp)